

# 知っちょる？ 統計やまぐち

## ⑦ 本県経済の実力と特徴

平成24年3月15日掲載

GDP(国内総生産)という言葉をご存じですか？一年間に国内で新たに生み出された財貨(もの)やサービスの合計額のこと、一国の経済規模を表しています。山口県でも地方版GDPと言える「県民経済計算」を毎年公表し、本県の総生産額や県民所得などを明らかにしています。

昨年12月に公表した平成21(2009)年度の県内総生産額は5兆4766億円。リーマン・ショックの影響により、経済成長率はマイナス4.0%と大きく減少しました。

県民所得を県人口で割った「一人当たり県民所得(個人所得・企業収益等含む)」は、270万8千円。これを先進国で構成する経済協力開発機構加盟国(比較可能な33カ国)の一人当たり国民所得と比べると、為替レートにより変動はありますが、山口県は16番目のイギリスと17番目のイタリアの間にあって中位に位置しています。ちなみに、日本はイタリアに次ぐ18番目、お隣の韓国は26番目です。

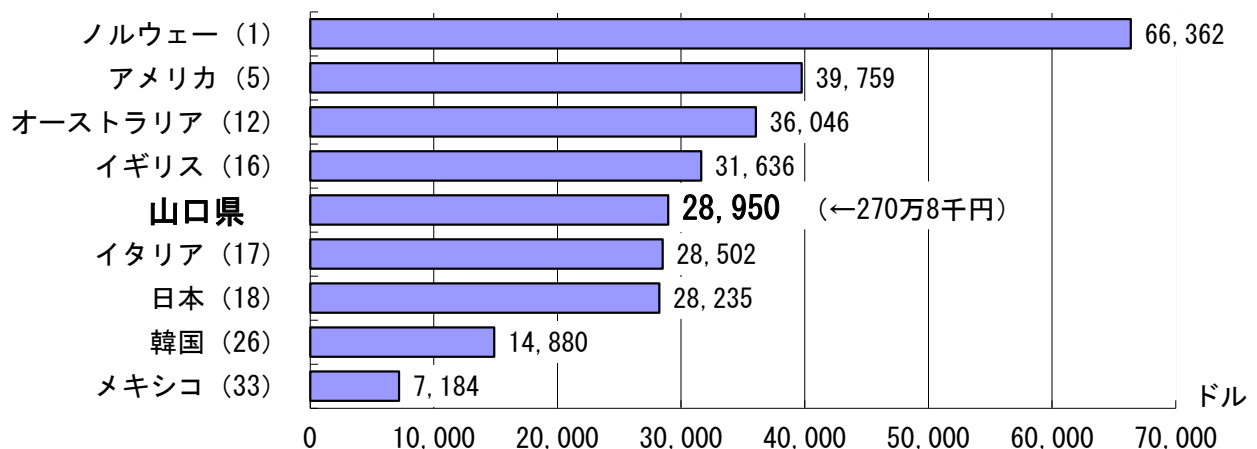
また、県内総生産額を産業別に分けると、産業構造の特徴がわかります。山口県は製造業を中心とする第2次産業に特化しています。隣県の福岡県は、卸売・小売業、運輸・通信業などの第3次産業に特化しています。

なお、今月末に県から公表予定の「平成21年度市町民経済計算」からは、市町や地域別の経済や産業の状況を知ることができます。

このように、県民経済計算や市町民経済計算は、経済の規模、構造、成長率など、さまざまな情報が詰まっています。県民の皆様にも、ぜひ一度目を通していただけたらと思います。

### ドル表示の1人当たり国(県)民所得の国際比較(平成21年度)

(順位)



(注) 山口県以外は、暦年の計数。換算レートは、1ドル=93.54円。  
(平成23年版国民経済計算年報による)